



クラブテーマ

和(なごみ)と輪

名古屋 名北ロータリークラブ Weekly Report

2014~2015年度 No. 15

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 創立：昭和56年3月4日
例会場：APΛ HOTEL 名古屋錦 中区錦三丁目 15-30 (052) 953-5111
事務局：名古屋市中区錦三丁目 15-30 APΛ HOTEL 名古屋錦 560号室
(052) 961-2399 (直通) (052) 953-5111 FAX (052) 961-2391
E-mail : meihokrc@beach.ocn.ne.jp

会長：岩田 満治 幹事：横井 尚啓 会報委員長：入江 由希子 題字：遠藤 友彦

本日の例会(第1613回) 10/15(水)

- ◆スピーカー 会員 小關 敏光君
- ◆題名 アメリカこぼれ話

次回の例会(第1614回) 10/21(火)

- ◆2RC (錦・名北)合同夜間例会及び懇親会を行います。

ホスト：錦 RC

(時間：午後6時00分～ 会場：名古屋ガーデンパレス)

第1612回例会記録 10/8(水)晴

- ◆司会 小關 敏光君
- ◆斉唱 RS・四つのテスト
- ◆ゲスト紹介 米山奨学生 李 珊珊さん

出席報告

会員数	38名	前々回訂正	1610回例会
欠席会員数	10名	欠席会員	5名中
出席会員数	28名	MAKE UP	4名
出席率	73.68%	出席率訂正	97.14%

会長挨拶

出雲大社の話



会長 岩田 満治

9月27日の御嶽山の突然の噴火で、多くの方々が犠牲になりました。未だ発見されていない方々の捜索が続けられています。犠牲者の皆様にはご

冥福をお祈りいたします。

暗い事の多い中で明るいニュースもありましたね。昨日3名の日本人研究者がノーベル賞を受賞されました。まさに快挙です。信号機にLED電球を使うと電力消費が6分の1になり交換も年1回で済み、省エネに大きく貢献できます。

また10月5日に、皇族の高円宮典子さまと出雲大社の権禰宜である千家国麿さんが出雲大社に於いて結婚式を挙げられました。千家国麿さんは出雲国造家「クニノミヤッコ」初代、天穂日命(アメノホイノミコト)から数えて84代目です。曾祖父の尊福さんは80代目で、出雲大社宮司、貴族院議員、東京府、埼玉、静岡、知事を務めたのち司法大臣に任命された。戦前の勲一等男爵、位階は従二位を授与されています。

1893年(明治26年)皆さんよくご存じの文部省唱歌1月1日「いちげついちじつ」を作詞・作曲は上 真之(年の初めのためしとて、おわりなき世のめでたさを、まつたけ、たてて、かどごとに、いおうきょうこそ、たのしけれ・・・)

出雲大社の祭神は^{おおくにぬしのみこと}大國主命(大黒様)。日本書紀、古事記これを紀・記と言いますが、特に古事記には古代から天皇家を中心とした歴史書(神話も含んだ)です。中でも興味を惹かれるのはお二人が天の御柱に向かって、婚姻の報告をされる次第が、古事記の中の一説にあります。

*日本のアダムとイブは樂園を地上に生み出した。以下伊邪那岐命、伊邪那美命の両神が結ばれる儀式に、天の御柱に向かって、男性は左回り、女性は右回りにて出合った時、男神が、「なんとまあ美しい娘なんだ！」女神は「なんとまあ素晴らしい男なの！」と言って幸運と多産を祈願した故事による。

この二人の命から生まれた島は、愛媛、讃岐、阿波、土佐、隠岐の三つの島を生み、筑紫の島「九州」、筑紫の国「福岡」豊の国「大分」肥の国「熊本長崎」熊曾の国「鹿児島」壱岐、對馬、佐渡、最後に大倭豊秋津島「本州」を生んだ。こうして八つの島を生んだのにちなんで、日本を大八島国という。この後は瀬戸内海の吉備児島から天両児島迄合わせて六島が生まれた。

この続きは次回に！

幹事報告

1. 今月は米山月間です。後程月間に因みまして、米山奨学生の李 珊珊さんより卓話をして頂きますので、よろしくお願い致します。
2. 来る 11 月 12 日(水)の松野ガバナー補佐訪問の出欠票を同封致しましたので、10 月 21 日(火)までにご提出下さい。尚、当日は例会終了後、クラブ協議会を開催致します。理事、役員、委員長並びに新入会員の方はお忘れのないようお願い致します。
3. ローターリー財団への寄付申込書(年間 150 ドル)を同封致しましたので、10 月 24 日(金)までにご提出下さい。
4. 「ロータリー希望の風奨学金」の支援金(38,000 円)を理事会承認によりロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会へ送金致しましたので、お知らせします。
5. 地区東日本大震災プロジェクト委員会・名古屋栄 RC 合同公開例会「3.11…あの日を忘れない！」開催のご案内が来ております。気仙沼から津波で流されながらも九死に一生を得た親子、仙台 RC から震災直後から地区の復興支援特別委員会で奔走されたロータリアンをお招きし、将来必ず起きるであろう東南海沖地震への備えにするため開催されます。ご参加希望の方は、10 月 15 日(水)までに事務局へお申し出下さい。

日 時 2014 年 11 月 17 日 (月)

例会時間 18:00~19:30

場 所 名古屋クレストンホテル 9 階

登録料 5,000 円

委員会報告

- ・「第 23 回 RYLA セミナー」開催のご案内

(青少年奉仕委員長 梶川 久雄)

卓 話

とある留学生の日常



米山奨学生 李 珊珊さん

こんなタイトルをつけましたが、改めて自己紹介みたいなものです。中国から参りました留学生、私です。

今は名古屋大学大学院情報科学研究科に在学中です。趣味は、美味しいものを食べることです。また、食べた後、作り方を学んで自分で作るのも好きです。

料理が美味しいとよく言われる広東省出身です。高校卒業後、北京にいる北京電影学院に進学しました。「電影」という言葉は、中国語で「映画」という意味です。北京電影学院は、映画関係の人材を専門に養成する大学で、学内に映画館とスタジオなどもあります。専攻は、文学科(脚本を書く、映画理論の勉

強)、監督科、撮影科(写真とビデオを撮る)、美術科(舞台美術)、録音科、管理科(映画の制作について)、演技学院(俳優)などがあります。私は、写真を専攻で、撮影技法などを勉強してきました。自分で作品などを作る授業が多かったです。大学院では、それと違い、理論の研究を試みたいと考え、美術大学でなく、総合大学、名古屋大学大学院に進学しました。

大学院では、本と論文を読んだり、理論の授業を受けたり、ゼミで発表したりしています。はじめた時は、日本語が上手ではない上、このような研究方法にあまり慣れなくて、授業を受けることだけで毎日精一杯でしたが、研究はなかなか進まなくて、発表もうまくできませんでした。留学することが正しいかどうかを疑いはじめました。その時、先生と研究室の先輩が相談に乗ってくれて、ゼミの発表が終わった後も、フィードバックしてくれて、すごく助かりました。彼らの毎回温かい励ましのおかげで、いま研究は順序に進んでいくようになりました。

私の研究は「私写真を介したコミュニケーション」についての研究です。皆さんは私写真という言葉をご存知でしょうか？

まずは、一冊の写真集から紹介したいです。1971 年に、日本の写真家、荒木経惟は、妻と新婚旅行のプライベートな記録写真を集成し、『センチメンタルな旅』という写真集を発表しました。その写真集の前書きに、荒木自身による、このような「私写真家」宣言も発表されました。その写真集の前書きに、荒木自身による、このような「私写真家」宣言も発表されました。「自分の新婚旅行を撮影したから真実写真だぞ！」といっているわけではありません。写真家としての出発を愛にし、たまたま私小説からはじまったにすぎないのです。もっとも私の場合ずーっと私小説になると思います。」

「私写真」という言葉の最も早い使用例は、柳本尚規が、1971 年、『カメラ毎日』という雑誌に「『センチメンタルな旅』はまさしく私小説ならぬ”私写真”だ。」と評したことです。

その後、一般的に、私写真とは、1970 年代から登場した写真の表現の一つであり、撮影者がプライベートな出来事や身の周りの親友などを被写体として記録、あるいは表現した写真です。カメラの歴史から見ると、1960 年に、実用的な露出を自動で行う機能を持つカメラが発売されました。それから、写真を撮るということは、昔、技法を持ったただ一部の人のだけでなく、誰でも気軽にできるようになってきました。これは、私写真が現れた背景の一つだと思われています。

「私写真」をしっかりと定義するのが難しいですが、まとめて、いくつかの特徴があります。

1、「私」と私生活(プライベートの出来事、親しい人)をテーマとして、撮影しています。

2、スナップショットの手法を利用しています。

3、写真家の場合には、写真集や展覧会などの手段で見知らぬ人たちに見せますが、私たちも、しばしば、インターネットやSNSを通して、見知らぬ鑑賞者と共有します。

私の研究では、写真家が撮った「私写真」ではなく、カメラの普及とインターネットの登場により、私たちが毎日撮ったり共有したりした写真を私写真と定義し、それを介した鑑賞者の間のコミュニケーションを促進することが目的です。今はアンケート調査の段階で、その後、ワークショップを行う予定です。

勉強だけではなく、美術館やギャラリーのキュレーターになるのが夢だから、大学内のプロジェクトギャラリー「clas」のスタッフとして仕事をしています。「clas」は、アートを勉強していない学生たちにアートを接触する機会を与えるために開いたギャラリーです。アーティストの作品だけではなく、学生たちにより作られた作品を展示する展覧会もあります。私以外のスタッフは全員日本の方なので、中国人との考え方や仕事のやり方が異なるとわかるつもりでしたが、実際に仕事をしてみたら、やはり慣れるまで時間がかかりました。例えば、スタッフ全員毎週ミーティングをやらなければならなりません。そこで、終わった展示物の撤去、進行中の展覧会の進捗やこれからの予定について細かいところまで考え、何回も確認します。最初はそんな必要があるかと、不満を感じました。自分が展覧会の担当となり、いくつかの展示を企画した後、こういうやり方は時間の無駄ではなく、合理化させた手順であり、さまざまなリスクを回避するために一番よい方法であると改めて認識しました。

あっという間に、日本に来た二年半が過ぎました。院生になって嬉しかったり、研究が進まなくて悩んだり、新しい環境で自分の足りない部分にがっかりしたりして、単純ながらも濃い毎日でした。前述のように、研究方法の勉強や日本人の仕事ぶりを見習い、成長したのはもちろん、私にとって何より一番重要なのは、母国に対する認識がより客観的になったことです。国から離れたところからみて、中国のメディアだけではなく、日本のメディアからも情報が入って、以前より中立的に中国について考えることができます。こういう全面的な視点は日本に来てから得られた大事なものだと思います。



ニコボックス

梅村美知容さん

18日PM1:30～、中京テレビ「マザーズ」特別養子縁組ドラマ、見て下さい。

【ゴルフ遠征、小関さんよろしく！】

柴山 利彌君 星川 直志君

【米山奨学生 李さん、卓話よろしく。】

岩田 満治君 古川 康司君 伊藤 晋一君 横井 尚啓君
遠藤 友彦君 梶川 久雄君 北村紀子さん 小関 敏光君
足立陽一郎君 横井 登君 玉置 正樹君 近藤 朗君
尾関 正一君 尾関寛津成君 藤原 研一君 加藤あつこさん
梅田 渉君 松岡 三明君 西脇 多吉君 祖父江佳乃さん
横田 徳久君 石黒 勉君 赤崎 守弘君